

【北海道】北海道・関東  
・関西のトレーラ輸送貨物  
をメインに扱うネクスト  
（北海道北広島市）の岩村  
大樹社長は「まだまだ先の



話ではあるが、海運業や国  
際総合物流を展開するグル  
ープ会社とのつながりを生  
かし、将来的には世界を相

ネクスト

## 岩村 大樹さん

手に輸送事業を展開してい  
きたい」と夢を語る。  
同社は、旧東日本フェリ  
ーの会社更生法適用申請を  
受け、当時の親会社である  
リベラ（竹本芳基社長、広  
島県呉市）が2004年10

月の物流部として事業が引  
き継がれた後、陸上輸送事  
業すべてを譲渡するため、  
リベラと三協運輸（現三協）  
が共同出資してネクストを  
設立、07年3月から正式に  
事業を始めた。

の知識はほとんどなく、「社  
員に何度も聞きながら手探  
り状態でスタートだっ  
た」と振り返る。  
既に更生手続きを完了  
し、新しい資本が入って生  
まれ変わったものの、更生

# 夢は「世界相手に事業」

月に支援に乗り出したのに  
伴い、旧東日本フェリーの  
グループ会社の1つとして  
吸収合併された旧東日本輸  
送が前身。

合併後、存続会社のリベ

国際総合物流を展開する  
三協（藤木幸三社長、横浜  
市中区）から調査役として  
旧東日本輸送に Outreach、06  
年12月のネクスト設立と同  
時に社長に就任。陸上輸送

法を適用した会社だとい  
イメージをいまだにぬぐい  
去れない面もあるという。  
しかし、営業担当者にと  
もに飛び込み営業を続け、  
道内はもとより、関東や関

## グループのつながり生かす

西方面も地道に歩いた結  
果、「少しずつ仕事が増え、  
ここ2年間は黒字に転換で  
き、ようやく周囲の反応も  
変わってきた」。



設立当初に構えていた東  
京、大阪、帯広の営業拠点  
を昨年6月に閉鎖し、社内  
体制も再構築した。「こと

中には債務超過の状態を  
解消する見通しが立った。  
来期からが本当の勝負だと  
思っている」

用途に応じたシャシー1  
59両を取りそろえ、全国  
ネットワーク体制を構築。  
将来的には国内輸送のみな  
らず、親会社の国際総合物  
流事業との連携を視野に入  
れ、通関業の許可を取得し、  
輸出入貨物を取り扱う構想  
も持っている。

1954年1月、青森県  
弘前市生まれ。

（北 博樹）